



栗東総合産業(株)の これまでとこれから

第35期 知的資産経営報告書 (2022.7～2023.6)



Ritto Sogo Sangyo Co.,Ltd.

1.ご挨拶・目次

目次

1 ご挨拶、目次	P1
2 経営哲学	P3
3 事業概要	P5
4 これまでの事業展開	P9
5 自社の強み・優位性（知的資産）	P10
6 これからの事業展開	P15
7 会社概要	P20
8 社員の声	P21
9 あとがき	P22

《表紙写真》

かつや 滋賀栗東 インターン店	パッカー車
吸引車両	栗東 ホース倶楽部

知的資産経営報告書とは？

知的資産とは、バランスシートに記載されていない無形資産のことです。
その知的資産を活用した企業価値向上に向けた活動を、目に見える形で解り易く伝えるために作成した書類です。
（詳細は、8. あとがき に記載しています）

当社の知的資産活用方法

本来の知的資産経営報告の活用方法は、各企業が事業展開する中で培ってきた「知的資産」を見える化し、保有する資源をいかに有効に活用し将来の経営に役立てるかがポイントになります。

本来であれば、知的資産から導きだす将来像は中長期にわたり掲げるビジョンに該当するかとされています。しかし、今現在企業にはめまぐるしいほどスピーディーな変化への対応を求められています。

そこで当社では、毎年新たな事業年度を迎える前に知的資産経営報告書を更新することで現時点での現状を把握・分析し、我々が向かうべき正しい方向性を導き出しています。社員全員が、ここに記載していることを把握、理解していただき各々の業務に反映してください。



〈栗東総合産業(株)社屋〉



〈パッカー車〉



栗東総合産業ロゴマークに込められた思い
緑の地球と美しい大地を守りつたえることを使命とする
栗東総合産業の頭文字Rから美しい自然環境をグリーンで、
業務に携わる人を紺で表現しています

1.ご挨拶・目次

代表者からのご挨拶

COVID-19の蔓延により経済活動が鈍化し約2年もの期間が経過しました。
ようやく日本国内においても活動制限が緩和されこれから経済活動が活発になると期待されていた時期に、ロシアによるウクライナ進攻がはじまり人道危機を招いているだけでなく、各国の経済成長にも大きな影響を与えています。
特に両国は一次産品の主要なサプライヤーでありこれらの価格は急速に上昇をしています。

世界情勢が不透明な時期ですが、我々は決して歩みをとめることなく邁進してまいります。
第35期については国内12店舗目となるタックルベリー丸亀店のオープンいたします。

また、渡航制限緩和により停滞していた海外での新規事業も再始動するほか、各部署においてより成長ができるよう部署目標も設定させていただいております。
混沌とした時代の中においてこれまで成長し続けてこれたのは、従業員の皆様の努力や、お客様、関係業者様のご協力のたまものであります。
経営理念にもあるように、我々は社会の公器として今日の前のことだけでなく、持続可能な社会構築の一助となるように事業を進めてまいります。

今回のこの知的資産経営計画書の作成に当たり経営企画室の青木さんに尽力して頂きました。
作成の目的は、社員の皆様に現在当社がどのような状況にあるのかを知って頂くと共に、我々が今後どのように進んでいくのかを理解して頂き、従業員の皆様にも仕事を通して幸せな人生を設計し過ごして頂くためです。

是非、内容を理解して頂き共に明るい未来を創っていきましょう。

2022年7月1日

栗東総合産業株式会社
代表取締役 井之口 二三雄



当社のSDGsに対する取り組み

SDGsへの取り組みは、「企業の社会的責任」の一部といっても過言ではないと思われますが、弊社としては次のような取り組みを行っています。

《SDGsとは》

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された持続可能な開発目標です。
2030年までを期限とする世界共通の17の目標により、貧困や飢餓や暴力を撲滅し、地球環境を壊さずに経済を持続可能な形で発展させ、人権が守られている世界を実現することを目指しています。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



10年後には女性比率20%を目指す。
現在女性比率7.6%

11 住み続けられる
まちづくりを



廃棄物処理業、水処理業など
様々な事業を通して、
住み続けられるまちづくりに
貢献しています。

6 安全な水とトイレ
を世界中に



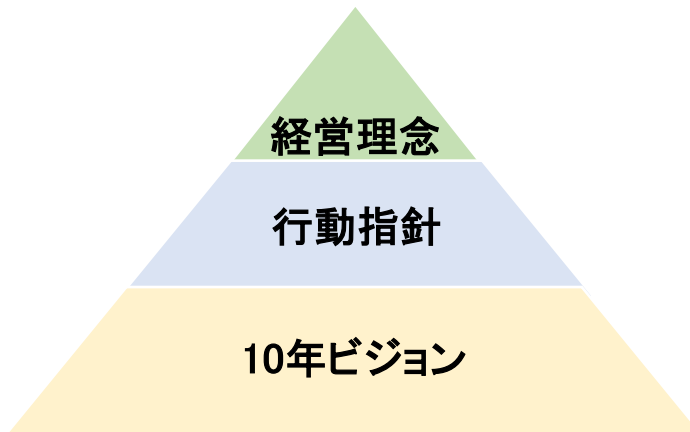
ヴァンテックベトナム事業では
魚の養殖池の水を綺麗にする
プロジェクトに取り組んでいます。

14 海の豊かさを
守ろう



私達は様々な水処理事業を
メインとし、その他様々な事業を通し
湖の豊かさを守っています。

2.経営哲学



(1) 経営理念

我々は社会の公器として、顧客・取引先との連携を構築し、
よりよい社会の創造の為に常に時代に即したサービス開発に挑戦する

経営理念の解説

当社は60年にわたりいかなる状況下においても地域の環境衛生を守り安全・安心な生活を地域住民に提供することを使命とし事業を継続してきました。現在では、社会ニーズの変化に伴い多様なサービスを提供していますが創始の精神は変わりません。

地域の住民の方々の生活を守ると共により良い生活を提供するためにサービス開発へと取り組んできました。企業は社会の公器として自社の利益を追求するだけでなく社会の発展のためにサービスを追求しなくてはなりません。

仕事を通して社会へ貢献していくことにやりがいと喜びを感じることでできる社員・顧客・取引先との連携を構築して、よりよい社会を創造していくために常に時代に即したサービス開発を目指し地域の活性化へと繋げるこそが当社の最も大事な理念であります。

(2) 行動指針

- ・衛生環境保全事業を通じて、地域社会の安心・安全な生活を守る
- ・自社のサービスを介して地域経済を活性化させるために常に挑戦し続ける
- ・持続可能な社会開発に貢献するために、自然環境に優しいサービスを追求する
- ・お互いが持続的に繁栄しあえる協力体制を構築する
- ・相互理解を深め自主性とチームワークを高め常に成長し続ける企業風土を築く

2.経営哲学

(3) 10年ビジョン

ビジョン名	ビジョン内容	達成目標値(KPI)		
		起点時 (2021年7月)	1年後実績値 (2022年7月)	10年後目標値 (2031年7月)
①新たな価値提供を目指した新規プロジェクト等による新会社設立	我々はよりよい社会の創造の為に、仕事を通して社会に貢献し挑戦し続ける人材を育成していきます。まずは、その風土を作り上げ、社員ひとりひとりが理念実現のために意見を交わし形できる土壌づくりを目指します。 そして、部署間連携を強化し強みを共有することで新たな価値を提供します。	0とする	0	3社設立
②既存環境事業関係の事業拡大	人口減少による市場縮小、また資源リサイクル技術の進歩により廃棄物業界を取り巻く環境は大きく変化していきます。 この時代の変化へと対応するために我々は常に最新の技術動向を積極的に取り入れ提案することによりお客様からの信頼を得て、栗東市及び活動地域の衛生環境を守る企業となることを目指します。 また、高齢化及びライフスタイルの多様化により変化する顧客ニーズにきめ細かい対応できるようにお客様への貢献度を向上させることで地域での地盤を確立します。 (イ) 栗東市内事業所内での廃棄物処理請負シェアアップ (ロ) 栗東市及び周辺地域の一般住宅からの依頼による環境事業年間売上げアップ (ハ) 浚渫事業部の年間売上げアップ	20% 0.1億円 1億円	21% 0.15億円 0.4億円	30% 1億円 3億円
③中古釣り具販売(店舗名:タックルベリー)の店舗網拡大	我々は2003年に琵琶湖守山店をオープンさせて以降、約20年で現在11店舗出店するまでに至りました。みんなの努力でこれまで順調に店舗を増やすことができましたが以降は環境の変化によって人口減少社会に向けて、釣り人を持つ店舗から脱却し釣りの楽しさを伝え、豊かな人生を送っていただくことのお手伝いのできる企業を目指します。	11店舗	35期に1店舗増設計画進行中(四国)	16店舗
④飲食事業の拡大	TGAL事業をメインに店舗網を拡大し、年間売上げアップ	2億円	2.1億円 (2月末推測値)	5億円
⑤ベトナム事業の拡充	釣り具販売事業や汚泥清掃サービス事業の展開による、年間売上げアップ	0.5億円	売上停滞	5億円

KPIの34期(起点時より1年後)実績の点検と反省

- ①新会社設立構想の案件はあるが、まだ具体化されていない。
- ②(イ)・・・システムの導入が遅れたため正確な数値がわからない状況が続いている
(ロ)・・・2022年4月より、新設した経営企画室により、栗東さんプロジェクトを再始動。現在本格稼働に向け計画を立案中。
(ハ)・・・JR関連の事業が大幅減少。来期は、一部復調になるも、更なる売上増加の為に、農業分野への進出を準備中。
- ③35期中に1店舗増設予定であり、10年で5店舗増設の計画ベースに則っている。
- ④コロナ禍での売上げ微増であり、順調な推移と思う。
- ⑤コロナ禍でベトナムを訪問できず、既存事業の経営指導や新規事業の計画推進が出来ず、10年計画が順調かどうかはまだ判断できない。

3.事業概要

(1)グループ沿革

2期間	年月	出来事
創業期	1962	井之口秀次郎が栗東衛生社を創業
	1964	栗東町一般廃棄物処理委託業者 社名変更:栗東清掃社
	1985	浄化槽保守点検業登録
成長期	1987	土木建設業登録(滋賀県)
	1987	栗東町環境センター運転業務開始
	1987	産業廃棄物処理(収集運搬)業取得(滋賀県)
	1988	社名変更:栗東総合産業株式会社
	1990	産業廃棄物処理(収集運搬)業取得(新潟市) (※以降取得地域下記表(左)参照)
	1992	浄化槽工事事業取得 第1種運送事業取得 一般貨物自動車運送事業取得
第二創業期	1994	有限会社栗東ホース具楽部設立
	1995	代表取締役役に井之口ニ三雄就任
	1997	有限会社ヴァンテック設立
	1999	有限会社アジア交易設立
	2001	かつや栗東インター店オープン、ISO14001認証取得
	2003	タックルベリー琵琶湖守山店オープン (※現在の運営店舗は下記表(右)参照)
		ISO9001認証取得
		有限会社淡海トランスポート設立
	2003	産業廃棄物処理業(中間処理)
	2004	積み替え保管許可取得
	2008	排水処理装置の開発に着手
	2011	北京楚乾科技有限公司と総代理店契約締結
	2014	滋賀テックプラント2016リバネス賞受賞、FCR工法協会入会、ベトナムダナン市において環境事業に関する市場調査開始
	2017	VANTECH VIETNAM Co.,LTD.設立
	2019	TGAL滋賀栗東事業開始(フードデリバリー事業)、ベトナム人インターン生受入開始、ベトナム水産養殖市場調査の開始、220mm(マドラー)の販売開始
	2020	ベトナム水産養殖場にて遠心分離装置実証試験を開始
	2021	TGAL京都下鴨店開設(2店舗目) 栗東総合産業初新卒採用 4名入社(4月)
	2022	栗東総合産業社内報4月より発刊開始(月に一度発刊予定)
将来	2022	JICA案件化調査事業(中小零細水産養殖事業者向け)を開始(1年間)
	2022	タックルベリー 四国で1店舗増設予定
	2023	JICA普及・実証・ビジネス化事業を開始(2年間)
	2025	ベトナム国内にて汚泥処理事業を開始



〈TGAL京都下鴨店〉

《TGALとは》

東京に本社を構えるTGAL。
全国有名店のブランドメニューを取り扱う事が可能な
フードデリバリーサービス。
当社ではフランチャイズ契約をし滋賀、京都で運営しています。



〈タックルベリー琵琶湖草津店〉

産業廃棄物処理(収集運搬)業取得(1990年以降)

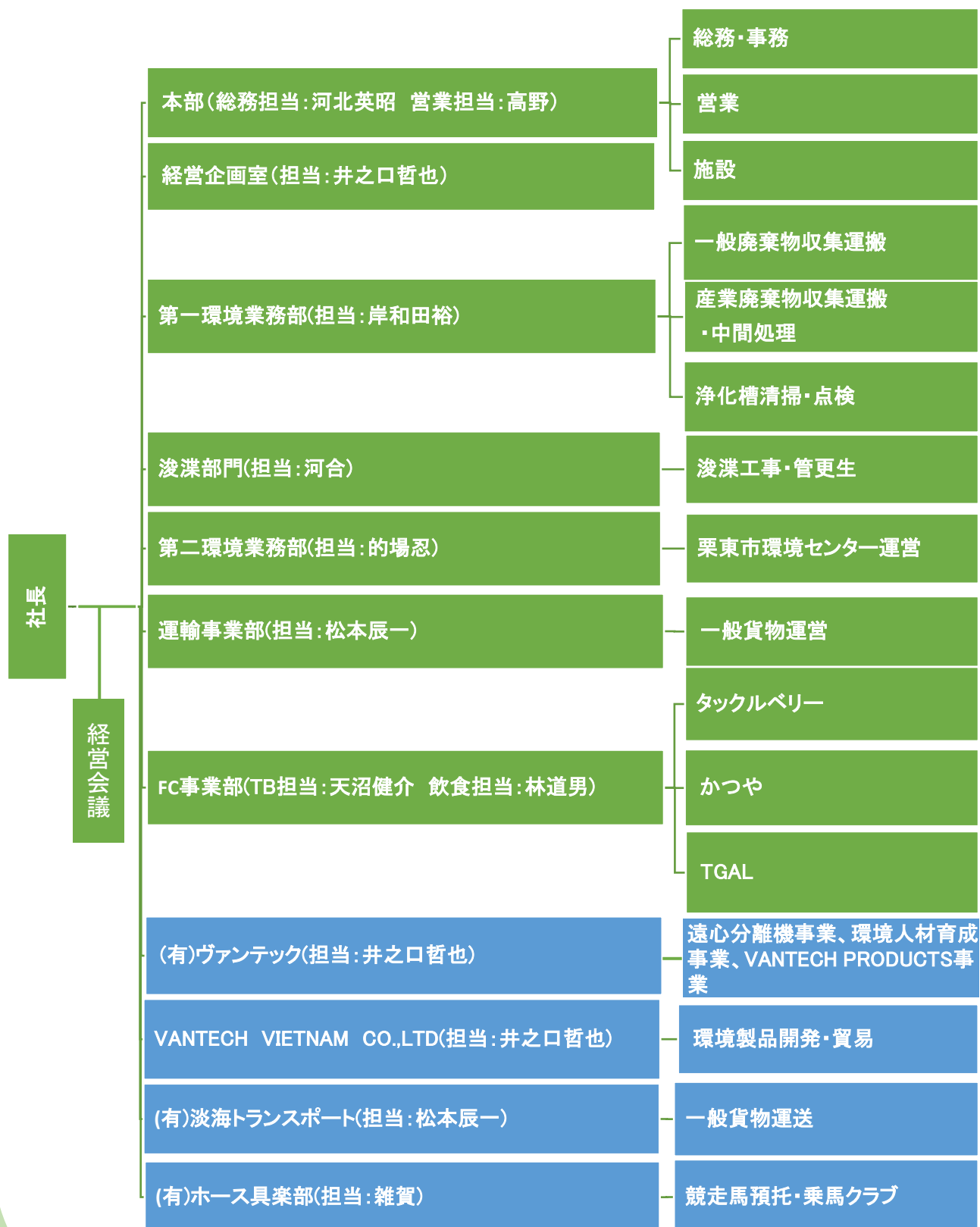
大津市、大阪府
三重県、京都府、
岐阜県、愛知県、福井県
奈良県、兵庫県

タックルベリー運営店舗(2022年6月現在)

琵琶湖大津店、琵琶湖草津店
尾張一宮店、美濃大垣店、美濃岐阜店
伊勢ノ鈴鹿店、伊勢四日市店、阿波徳島店
土佐高知店、伊豫ノ松山店、安芸広島店

3.事業概要

(2) 栗東総合産業グループ組織図



3.事業概要

(3)各部署事業概要

①本部	グループ全体の総務及び事務機能・営業推進
②経営企画室	新社内システムへの移行及び運営サポート VANTECH PRODCUTS事業の管理・FC事業のサポート体制
③第一環境 業務部	栗東市廃棄物処理委託業務(葉山学区、小野地区を除く)・事業所及び個人宅向けごみ回収サービス(栗東市内全域)・産業廃棄物収集運搬サービス(別表:産業廃棄物許可地域一覧を参照)・産業廃棄物中間処理施設(発泡スチロール)・浄化槽維持管理及び清掃サービス(栗東市内)・浄化槽設置工事・トイレ詰まり解消サービス、宅内配管のメンテナンス
④第二環境 業務部	栗東市環境センター(廃棄物処理施設)の運営委託
⑤浚渫部	貯水槽清掃、排水管洗浄、側溝清掃・浚渫工事、土木建設工事、止水工事・暗渠管内カメラ調査・グリーストラップ清掃・河川、湖沼、水路等の清掃・浄水場の沈砂回収、清掃・壁面、床面の高圧洗浄・公共下水道管内清掃及び修繕・菅更生(伏び・ライニング)
⑥運輸事業部	一般貨物運送
⑦FC事業部	タックルベリー(琵琶湖大津店、琵琶湖草津店、尾張一宮店、美濃大垣店、美濃岐阜店、伊勢ノ鈴鹿店、伊勢四日市店、阿波徳島店、土佐高知店、伊豫ノ松山店、安芸広島店)・かつや滋賀栗東インター店・TGAL(滋賀栗東店、京都下鴨店)
⑧関連会社	(有)ヴァンテック・VANTECH VIETNAM CO.,LTD・(有)淡海トランスポート・(有)ホース具楽部



〈ライニング工事〉



〈運輸事業部〉



〈タックルベリーホームミン店〉

3.事業概要

(4)環境・社会貢献活動

①グリーン経営認証

栗東総合産業は「グリーン経営認証」を2007年10月19日付で取得いたしました。

環境に配慮するトラック運送事業者として、グリーン経営を積極的に推進し、環境保全活動に取り組むとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めております。

②淡海エコフオスター・美知メセナ活動

栗東総合産業では「淡海エコフオスター活動」「美知メセナ」に参加し、栗東市周辺の環境保全の為環境美化活動に取り組んでいます。

③地域貢献への取り組み

社員や近隣地域住民が万が一、室細動などによる突然の心停止に陥った場合に備え市内3事業所に「AED」を設置し万一の際に即座に対応できるよう普通救命士資格取得を社員に義務付けています。平成25年3月には栗東市と、「災害時における救援活動の支援に関する協定」を結びました。万一、栗東市に災害が発生した際には、迅速かつ円滑に災害応急対策を実施します。

③CO2削減への取り組み

栗東総合産業では、地球温暖化防止に向けてCO2排出量の削減に取り組んでいます。エネルギー消費量が多い生産と物流活動では、事業特性に応じた環境効率の改善に重点をおいた省エネルギー活動を推進しています。

〈CO2削減への取り組み〉

ボイラーのガス化、廃熱回収、コジェネレーションの導入、省エネ機器の導入・軽油消費量の削減:デジタルタコグラフの導入、ハイブリッド車両の導入・太陽光発電システム導入・LED導入:本社社屋内の蛍光灯照明を全てLEDを導入



〈グリーン経営認証ロゴマーク〉



〈AED〉



〈淡海エコフオスター・未知メセナ活動〉

4.これまでの事業展開

これまでの対応

	戦略・方針	主な取り組み・投資	成果・課題
創業期	・美しい環境、快適な生活の実現 ・顧客満足度の提供  〈創業者〉井之口秀次郎	・創業二事業（一般家庭ごみの収集運搬、し尿の汲み取り）に専念し、企業・組織・財務基盤等の確立に努めた ・二事業に必要な特殊車両の購入に投資	【成果】 ・企業基盤の確立 【課題】 ・二事業の周辺事業（関連事業）の要望多く、対応が必要
成長期	・豊かな湖国の環境維持、向上 ・顧客ニーズへの対応  〈ショベルカー〉	・創業二事業に加え下記の事業へ取り組んだ →産業廃棄物処理業 →浄化槽関連事業 →環境センター焼却炉運転業務 →一般貨物運送事業  〈吸引車両〉	【成果】 ・二事業の基盤確立 【課題】 ・公的部門の売上比率が高い
第二創業期	・豊かな湖国の環境の維持、向上 ・多角化による事業基盤の安定化 ・多様なサービスの提供  〈タックルベリーホーチミン店〉	・既存事業の効率化、品質向上 ・FC事業への進出 ・VANTECH VIETNAM社設立  〈ハイブリッドパッカー車〉	【成果】 ・ISO認証取得 等 【課題】 ・組織的経営が不十分 ・人材不足

5. 自社の強み・優位性(知的資産)

当社は創業以来50年余、廃棄物処理業と水回りメンテナンス業を主体に事業に専念してきました。

その中で蓄積されました主な知的資産(一部物的資産)としては次の7項目があります。

これらの知的資産については、次ページ以降で詳述します。

- (1)事業運営に必要な各種許認可を取得している。(構造資産)
またその運営に必要な資格を主に各種専門的有資格者が多数在籍している。(人的資産)
- (2)多様な業種から色々なノウハウが共有できる。(構造資産)
- (3)情報発信・コミュニケーションツールが充実している。(構造資産)
- (4)様々な取引先や、団体とのネットワークが構築されている。(関係資産)
- (5)地域行政や顧客と信頼関係が築かれている。(関係資産)
- (6)特殊な設備を多数保有している。(物的資産)
- (7)海外に拠点がある。(構造資産・関係資産)

知的資産三分類

■ 人的資産:従業員が退職時に一緒に持ち出す資産

例)技術力、経験、柔軟性、学習能力、モチベーション等

■ 構造資産:従業員が退職時に企業内に残留する資産

例)データベース、文化、システム、手続き、文書サービス等

■ 関係資産:企業の対外的関係に付随した全ての資産

例)イメージ、顧客ロイヤリティ、顧客満足度、供給業者との関係、金融機関への交渉力等

5.自社の強み・優位性(知的資産)

(1)事業運営に必要な各種許認可を取得している。(構造資産)
またその運営に必要な資格を主に各種専門的有資格者が
多数在籍している。(人的資産)

廃棄物処理事業・浚渫事業・浄化槽関連事業・輸送事業等々各事業運営に必要な許認可を
下表のように多数取得しています。

またそれぞれの部門において専門知識が必要で、資格の必要な業務も多くありますが、
現在では34資格、延べ215名が何からかの資格を保有しています。(下表の主な保有資格を参照)

当社が取得している許認可一覧

環境・廃棄物関連	建設関連	車両関連
産業廃棄物処分許可証 産業廃棄物収集運搬許可証(※許可の範囲 はP5下記表参照) 一般廃棄物処理業許可証 浄化槽清掃業許可証 浄化槽保守点検業者登録票 し尿収集運搬及び手数料徴収業務 環境衛生センター使用許可証	一般建設業許可 建築物飲料水貯水槽 清掃業登録証明書 特例浄化槽工事業	一般貨物自動車運送事業 第一種利用運送事業

当社社員が保有している主な資格一覧

環境・廃棄物関連	建設関連	車両関連	その他	
大気関係第2種及びダイオキシン類関係公害防止管理者	一級土木 施工管理 技士	運行管理者	消防設備士	特殊高圧ガス取扱主任者
ダイオキシン類関係 公害防止管理者	特定化学 物質作業 主任者	高所作業車運転者	甲種防火管理 者	有機溶剤作業主任者
第一種衛生管理者	特定化学 物質及び 四アルキ ル鉛等作 業主任者	車両系建設機械運 転者	ボイラー設備 士	毒物劇物取扱者
し尿処理技術管理者	電気工事 士	小型移動式クレーン	一級ボイラー 技士	酸素欠乏危険作業主 任者
廃棄物処理施設技術 管理者	電気主任 技術者		アーク溶接作 業者	酸素欠乏・硫化水素 危険 作業主任者
浄化槽設備士	下水道管 理技術者		ガス溶接作業 者	貯水槽清掃作業監督 者
浄化槽管理士	下水道管 理専門技 師		液化石油ガス 設備士	

5. 自社の強み・優位性（知的資産）

(2)多様な業種から色々なノウハウが共有できる(構造資産)

創業から廃棄物処理業を進めていき事業の柱が集中してしまったことから、リスクヘッジの為に別事業への進出を進めてきました。

部署間を越えて広くノウハウ共有がされており、既存事業のブラッシュアップや、新規事業開発の為に重要なポイントになっておりグループが進化していく為に必要不可欠な強みとなっております。

企業別業種一覧

栗東総合産業(株)	一般廃棄物処理、収集運搬 ・ 廃棄物処理施設運営管理 ・ 産業廃棄物処理 ・ 資源リサイクル事業 ・ 浄化槽工事・浄化槽清掃、点検 ・ 土木工事 ・ 浚渫工事 ・ 下水道カメラ調査 ・ 管更生工事 ・ 伏び管調査 ・ ライニング工事 ・ 貯水槽清掃 ・ 排水管洗浄 ・ つまり直し ・ 一般貨物運送 ・ 飲食事業 ・ 釣具販売 ・ デリバリー事業 ・ 古物商 ・ 害虫駆除 etc	
(有)ヴァンテック	人材派遣業・保険代理店 ・ 遠心汚泥減容装置開発・プロダクトデザイン製品企画 ・ WEB販売 ・ 海外事業 他	
(有)淡海トランスポート	一般貨物運送料	〈VANTECH PRODCUTS事業・ステンレスタンブラー〉
(有)ホース具楽部	乗馬クラブ ・ 競走馬の調教 ・ 競走馬委託事業	
VANTECH VIETNAM Co.,Ltd	タックルベリー・ホーチミン店運営 ・ インターン生派遣事業 ・ 廃水処理事業	〈インターン生〉

(3)情報発信・コミュニケーションツールが充実している(構造資産)

市役所経由ではなく市民の皆様から直接自社のサービスをご利用いただけるよう栗東さんブランドを立ち上げSNSを活用し周知しております。

発信ツール	アカウント名	更新頻度
 ホームページ	おうちのお困りごとは栗東さん	随時
Instagram Facebook Twitter   	栗東さん.COM	毎日

5.自社の強み・優位性(知的資産)

(4) 様々な取引先や、団体とのネットワークが構築されている(関係資産)

企業別所属団体一覧	
栗東総合産業(株)	滋賀県環境整備事業協同組合、(公社)滋賀県生活環境事業協会、ASS工法協会、FCR工法協会、(社)滋賀県産業廃棄物協会、(一社)下水道管路維持協会、滋賀県産業資源循環協会、(社)日本クレーン協会、草津栗東交通安全協会、草津栗東安全運転管理者協会、栗東市商工会、(社)滋賀労働基準協会、(社)草津食品衛生協会、滋賀県中小企業家同友会、草津小売酒販組合、滋賀県草津納税協会、栗東生活支援協議会、栗東市勤労互助会、栗東市事業所人権教育推進協議会、湖南防火保安協会、広島市古物商防犯組合、しがぎん栗東経友会、しがぎんビジネスクラブ、しがぎんニューリーダークラブ、びわこてらこや、(公社)栗東青年会議所、(公財)栗東市スポーツ協会、栗東国際交流協会、(社)北海道馬主会、(社)埼玉県馬主会、(社)千葉県馬主会、(社)兵庫県馬主会、(社)石川県馬主会
(有)ヴァンテック	龍谷大学(REC)ビジネスネットワーク倶楽部、しが水環境ビジネス推進フォーラム、滋賀県環境保全協会、滋賀県中小企業団体中央会、栗東市商工会、栗東市勤労互助会
(有)淡海トランスポート	(社)滋賀県トラック協会、栗東市商工会、栗東市勤労互助会
(有)ホース倶楽部	(社)日本馬術連盟、栗東市乗馬連盟、滋賀県乗馬連盟、競走馬育成協会関西支部、滋賀県馬牧場防疫協議会、京阪地区乗馬倶楽部振興会、栗東市スポーツ協会、栗東市商工会、栗東市勤労互助会

(5)地域行政や顧客と信頼関係が築かれている(関係資産)

昭和37年の創業時より地元自治体からの受託契約により委託業務(家庭ごみ収集運搬)をスタートし、すでに50年余が経過し現在も同業務は継続しています。

以降、ごみ処理場の運営委託等他の業務においても実績を積み信頼を重ねてまいりました。今では、緑のパッカー車は市民の方に認知されており当社にとって貴重な資産となっています。



〈パッカー車大解剖！！〉

子供たちに近くでパッカー車を見てもらい、ごみの分別などを学んでもらう機会を作ることを目的に毎年開催しており好評を得ています。



〈県立ろうわ学校での環境事業〉

栗東市内にある県立ろうわ学校では、学校側からご依頼があり生徒さんに向けて毎年環境事業を進めております。生徒の皆様から頂戴した環境をテーマに描いた絵をパッカー車にラッピングしています。

5.自社の強み・優位性(知的資産)

(6)特殊な設備を多数保有している(物的資産)

事業を拡大していく中で業務品質・効率向上のために高性能設備が必要となり現在では様々な機能を持った車両約90車保有しています。

この物的資産である高性能車両と活用ノウハウの蓄積も相まって顧客ニーズに迅速・高品質・高効率に対応が可能です



〈ハイブリットパッカー車〉



〈管路内調査カメラ〉



〈超高速遠心分離装置〉

(7)海外に拠点がある(関係資産、構造資産)

約20年前、有限会社アジア交易を設立し海外展開を図ってきた当社グループは、まずベトナムにて「ASIA TRADING Co.,Ltd社を設立し、事業をスタートさせました。

一旦は、ベトナムから撤退するものの2018年にはVANTECH VIETNAM Co.,Ltdを設立し再進出を果たしました。

龍谷大学との連携事業である現地環境調査事業を経て、現地の関係自治体や大学等の協力を得、水産養殖池の清掃事業を開始するに至りました。

また、ベトナム国内の有望な若手人材を人口減少が進む日本国内に取り込むために各教育機関と連携しインターン生の受入を開始しました。その他、中国国内での事業展開の為に北京楚乾科技有限公司とパートナー契約を締結、ミャンマー国内でのJICA事業に参画するなど海外展開の拠点を構築してきました。



〈タックルベリーホーチミン店〉

経済成長が著しいベトナムにて、レジャー消費が拡大しているのを受け2018年6月に、ベトナム・ホーチミン市にタックルベリーホーチミン店をオープン致しました。



〈インターン生受入事業〉

2017年よりベトナム国内の環境調査を継続してきながら現地大学との交流を深めてきました。2019年より、インターン生の受入を開始、日越の交流の架け橋として活動しています。



〈ミャンマーJICA事業〉

ミャンマー・ヤンゴン市にて、浄化槽普及事業に参画しました。日本国内とは異なる環境で、事業を進める苦勞を体験し今日の事業に活かされています。

(1) SWOT分析

内部環境 外部環境		《強 み(S)》	《弱 み(W)》
		【人的資産】 ①専門資格保有者が多い ②業務を熟知した勤続年数の長い社員多い 【構造資産】 ③多様な分野ノウハウを保有 ④情報技術力がある(向上してきた) ⑤情報発信力がある ⑥組織としてのまとまりがある ⑦月次決算等の仕組みを導入し安定している 【関係資産】 ⑧専門業界団体とのネットワークが構築されている ⑨長年事業継続のため顧客との信頼関係構築 ⑩海外拠点がある ⑪創業から60年の歴史があり、信頼もある(栗東市内シェア率20%) ⑫社外の人脈がある 【その他】…有形資産等 ⑬廃棄物事業をはじめ特殊装備を保有している	【人的資産】 ①有資格者の流出 ②トップダウン体制(主体性に欠ける) ③高齢化 【構造資産】 ④組織経営・近代的管理が不十分 ⑤部署間での連携が部分的である ⑥営業範囲が限定(一般廃棄物・栗東市内) ⑦業界イメージの悪さ ⑧廃棄物処理設備を所有していない ⑨人手不足 ⑩IT化が進んでいない ⑪公共事業のイメージが強く、一般家庭からの依頼が少ない 【関係資産】 ⑫他部署のサービス内容を顧客に伝えられていない
《機会(O)》	【マクロ環境】 ④環境規制の強化 ⑤世間の環境意識の向上 ①高齢者や単身者の増加 ③非対面型サービスへのニーズの高まり ⑩海外での環境市場が拡大 ⑤SDGsの普及による市民の環境意識の高まり ①SDGsの認知と取り組みの拡がり ⑦DXの推進(脅威でもある) 【ミクロ環境】 ①行政の委託業者 ⑧市場規模や需要の変動少ない ②栗東市人口は微増傾向 ④自由参入が困難 ⑦行政サービスで対応できない住民の存在	戦略Ⅰ：強みを活かし、機会をものにする戦略 (1)顧客との信頼関係を活かした、高齢者・単身者対応や非対面対応サービスの開発(①②③⑨⑬×①⑤) (2)環境事業の市場拡大が予測される海外での環境事業展開(①③⑩⑬×⑥) (3)情報発信力を活用し、一般住宅向けのサービスの認知度を向上させる。(⑤×①⑤) (4)情報技術力を活用してDXを推進し、顧客利便性の向上を図る。(④×①⑤⑦)	戦略Ⅲ：弱みを克服し、機会を逃さないようにする戦略 (1)事業機会に迅速、効率的に対応していく為の情報共有、意思統一を図る組織体制の構築・経営管理体制の整備(④⑤×④⑨①③⑥①⑦) (2)地域顧客に我々のサービスを伝える広報手法の確立(⑤、⑥、⑨×①、⑤、) (3)社会に認められ、必要とされる人材の育成(①②③⑦⑨×④⑨⑥)
	《脅威(T)》	【マクロ環境】 ④コロナウイルスの影響による経済悪化 ③廃棄物減量化(リサイクル)の風潮 ①人口減少に伴う市場及び若年労働者の減少 ⑤ライフスタイルの多様化と共にニーズも多様化 ⑥DXの推進(機会でもある) 【ミクロ環境】 ④コロナウイルスによる生活様式の変化 ①価格競争の激化 ⑦下水道普及による浄化槽の減少 ⑧技術進歩による資源リサイクル率の向上 ②廃棄物の搬出量削減政策 ④各種リサイクル法の増加 ⑦リサイクルによる他家種からの参入	戦略Ⅱ：強みを活かし、脅威の影響を受けないようにする戦略 (1)コロナウイルス蔓延による生活様式の変化に対応する新サービスの開発(①②③⑧⑨⑬×④①⑤) (2)海外拠点がある強みを活かし、若年労働者不足に対応する(⑩×①)

6.これからの事業展開

(2)経営戦略

「10年ビジョン」及び「SWOT分析から導かれる経営戦略」を総合して、現時点の「将来の経営戦略」を次のように策定する。

将来の経営戦略	該当する「10年ビジョン」及び「SWOT分析から導かれる経営戦略」	
	10年ビジョン	SWOT分析から導かれる経営戦略
①DXにより、これまで顧客から不透明になっていた部分を明確にすることで差別化を図る	②既存環境事業関係の事業拡大	戦略Ⅰ－(4)
②広報ツールを活用し、一般住宅向けのサービス認知度を向上させる		戦略Ⅰ－(3)、戦略Ⅲ－(2)
③釣り人を待つから、フィッシングライフの魅力を伝え釣り人を創造するサービスを提供し差別化を図る	①新規プロジェクト等新しい取組 ③タックルベリ－関係の店舗網拡大	戦略Ⅱ－(1)
④フードデリバリー独自ブランドを立ち上げ、FC展開を目指す	①新規プロジェクト等新しい取組 ④飲食事業の拡大	戦略Ⅱ－(1)
⑤ベトナムにてルアーフィッシング専用のパークの創設、污泥処理サービスの展開	①新規プロジェクト等新しい取組 ②既存環境事業関係の事業拡大 ⑤ベトナム事業の拡充	戦略Ⅰ－(2)
⑥経営企画室を設置し、グループ間の社内共有を効率化させ風通しの良い組織を作る	①新規プロジェクト等新しい取組 ②既存環境事業関係の事業拡大	戦略Ⅲ－(1)

① DXにより、これまで顧客から不透明になっていた部分を明確にすることで差別化を図る

環境事業関係の現状の主な課題

- ① 廃棄物等の収集に行く時間帯や廃棄物の重量をお客様が確認しにくい。
- ② 顧客ニーズを把握・対応したり、顧客からの発注仕様等を迅速・正確に受注する体制が十分ではない。

これらの課題に対応するとともに、DX化を推進し企業変革や競争優位性の確立を図りたい。
具体的にはまず次のような取り組みを行う。

- ① クラウドシステムの導入。
クラウドシステムの導入により、顧客との情報共有をタイムリーに行うことで透明性を高める。
- ② チャットボットシステムの導入。
チャットボットシステムの導入により、24時間受注可能な体制を構築し、顧客の利便性を高める。
またこれにより顧客ニーズの把握・対応にも取り組む。

これら両システムの導入により収集されるデータを蓄積・分析し、デジタル技術の活用により顧客対応の向上やビジネスモデルの変革に取り組み、競争優位性を確立したい。

《DXとは》

データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルの変革や業務・組織・プロセス・企業文化・風土を変革し競争上の優位性を確立する事。

《チャットボットシステムとは》

チャット(会話)をロボット化することで、顧客とのコミュニケーションを自動化できるツール。

6.これからの事業展開 (2)経営戦略

②広報ツールを活用し、一般住宅向けのサービスの認知度を向上させる



WEBサイト



Facebook



Instagram



Twitter

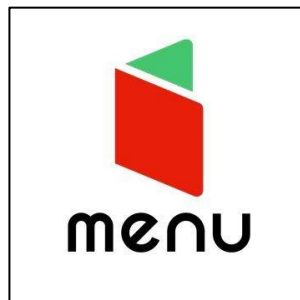
③釣り人を待つから、フィッシングライフの魅力を伝え釣り人を
創造するサービスを提供し差別化を図る。



経営企画室と連携し初心者向け釣りイベントを定期的 to開催。

④フードデリバリー独自ブランドを立ち上げ、FC展開を目指す

フランチャイジーとして手掛けているフードデリバリーサービス(TGAL)のノウハウを活かし、
多様なフードデリバリーサービスを使い、独自ブランドの確立を目指す。



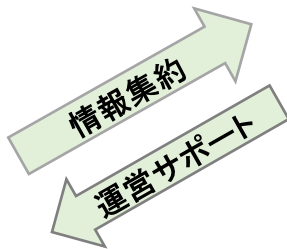
6.これからの事業展開 (2)経営戦略

⑤ベトナムにてルアーフィッシング専用のパークの創設、汚泥処理サービスの展開



ベトナム国内にて、スポーツフィッシング文化の発信拠点となるパークの創設官民学連携による、ベトナム国内での汚泥処理サービスの開始

⑥経営企画室を設置し、グループ間の情報・ノウハウの社内共有を効率化させ風通しのよい組織を作る



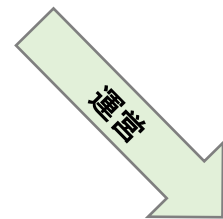
〈グループ会社〉



〈経営企画室〉



〈FC事業部〉



6.これからの事業展開

(3)今期経営計画 ビジョンや経営戦略実現のための今期の取り組み計画

【今期の取り組み計画】

今期取組項目	今期到達目標値	計画の具体的内容
①既存取引先とのコミュニケーション活性化	既存取引先とのコミュニケーション活性、営業会議の開催(1回/月)	既存取引先への定期訪問、情報共有及び進捗管理の為に定例会議の実施
②鉄道事業の推進	年間売上 8,000万円	新規顧客の獲得
③ベトナム国内での環境事業展開	遠心分離装置の販売開始	ベトナムマーケット向けの大型機の開発、事業実施体制の構築
④経営企画室の設置(全部署共通)	社内システムの構築、定期的な外部への情報発信、各部署の長期戦略の策定	①システム移行のためのデータ整理 ②VANTECH PRODUCTSの事業管理在庫、販売管理、マーケティング活動 ③FC事業サポート体制 タックルベリー初心者企画の立案と実施 かつや及びTGALの事務作業サポート
⑤業務別売上高管理会計システムの構築(総務・事務・営業・第一環境事業部)	事務処理ペーパーレス化による紙使用量削減	新システムの導入
⑥ゴミの取り忘れ・事故0(第一環境事業部)	安全作業ミーティング月1回の実施	月1回安全パトロールの実施
⑦品質・安全・工程管理、作業個々のレベルアップ(スキルの向上)(浚渫)	チェック表及び写真による材料納品時・出来上がりの品質チェック 安全衛生協議会(SR)の開催/毎月	チェック表及び写真による材料納品時・出来上がりの品質チェック 安全衛生協議会(SR)の開催/毎月

【今期の数値目標】

今期数値目標	前期の実勢	今期の目標
売上高	1,975,142千円	2,200,000千円
付加価値額	643,048千円	700,000千円
付加価値率	32%	32%

7.会社概要

社名	栗東総合産業株式会社
代表者	井之口二三雄
創業	昭和37年3月（設立 昭和63年8月）
資本金	2,500万円
従業員数	99名
本社	〒520-3036滋賀県栗東市十里244番地 TEL.077-552-1711(代表) FAX.077-553-4710
運輸事業部	TEL.077-554-1110(代表)FAX.077-554-1116
環境事業部	〒520-3017 滋賀県栗東市六地藏31番地 TEL.077-553-5596
事業内容	廃棄物処理、浄化槽工事、廃棄物処理施設運転管理、浚渫工事、土木建設工事、暗渠管内検査・止水工事、給水管更正（ライニング工事）、貯水槽清掃管理、害虫駆除、運輸事業、FC事業
取引銀行	滋賀銀行、京都銀行、JA栗東市、京都中央信用金庫、関西アーバン銀行、京都信用金庫、日本政策金融公庫他
取引先	栗東市、JRA(日本中央競馬会)、JA栗東市、滋賀県、県内各市町村、県内有力事業所
保有車輛	車輛50輛 運輸車輛17輛 普通車両23台
顧問団	弁護士 明尾 寛（明尾法律事務所） 税理士 村井 正純（村井正純税理士事務所） 労務士 山本 登茂子（社労士山本登茂子事務所）
主な加入団体	滋賀県環境整備事業協同組合、栗東市商工会、(社)滋賀県産業廃棄物協会、(社)滋賀県下水道管路維持協会、(社)滋賀県トラック協会、(社)滋賀県生活環境事業協会、(社)日本クレーン協会、(社)ASS工法協、FCR工法協会

社名	VANTECH VIETNAM CO.,Ltd
代表者	HO KIM VAN
設立	平成30年6月
資本金	100,000,000VND
従業員数	4名
事業内容	タックルベリーHCM、人材育成事業、廃水処理事業

社名	(有)淡海トランスポート
代表者	井之口二三雄
設立	平成16年10月
資本金	500万円
従業員数	7名
事業内容	運輸事業

社名	(有)ヴァンテック
代表者	井之口二三雄
設立	昭和63年8月
資本金	400万円
従業員数	76名
事業内容	排水処理装置開発、触媒技術商品開発、人材派遣業務、輸出入等の貿易業務

社名	(有)ホース具楽部
代表者	井之口二三雄
設立	昭和63年8月
資本金	400万円
従業員数	17名
事業内容	競走馬調教、育成及び乗馬クラブ



〈運送トラック〉



〈VANTECH PRODCUTS事業
ステンレスタンブラー・マドラー〉



〈栗東ホース具楽部〉

8.社員の声

【入社2年】第一環境業務部 土居 良明



日々仕事を通じて、この仕事、この会社に転職して良かったと思える瞬間があります。

まず第一に仲の良さと良い先輩に囲まれていることです。よい事、悪い事をハッキリ言い合える雰囲気です。多種の仕事の中で、やはり体調の悪い日、件数が多い日色々なコンディションの日がある中で、必ず応援に来てくれたり、声を掛けてくれたり、その中でもう一前に進んでいけそうなそう思わせてくれる瞬間がやりがいそのものです。

そしてゴミ回収の際に住人の方や、事業所のお客様から伝えられる感謝の言葉が、何より自分の中のモチベーションに繋がっていると感じています。もっともっと成長につなげていきたいと思っています。

【入社11年】タックルベリー 渡邊 孝太郎



滋賀県のタックルベリーでアルバイトとして入社して早10年以上経ちました。

当時は掛け持ちで仕事をしながらほしい釣具を毎月コツコツ買い釣りをして生活をしていました。今は家庭ができ持ち家などを買って、細々ですが今も変わらず毎週のように釣りに行っています。

仕事のやりがいとしては、現在受け持っている店舗のスタッフの成長、業績を少しずつ上げるのが楽しみです。

今後の目標はとりあえずマグロを釣る、子供の成長が楽しみです。将来は釣りアイドルとして活躍してもらおうと考えています。

【入社14年】淡海トランスポート 古川 卓哉



現在の仕事は主に、建材の運送・配達、クレーン作業を行っています。難しい現場作業を安全に効率よく進める必要があります。

一人で作業する事が多く責任感が大切になる仕事だと思っています。全国様々な場所をトラックで走るので、交通事情にも詳しくなることができ、毎日楽しく仕事に取り組んでいます。

9.あとがき

(1) 知的資産経営とは

知的資産経営とは、従来バランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人財、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

(2) 注意事項

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。

そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承ください。

(3) 作成者

栗東総合産業株式会社 常務取締役 井之口哲也 経営企画室 青木由樹

(4) 作成支援

当報告書は次の団体・個人により作成支援されています。

栗東市商工会

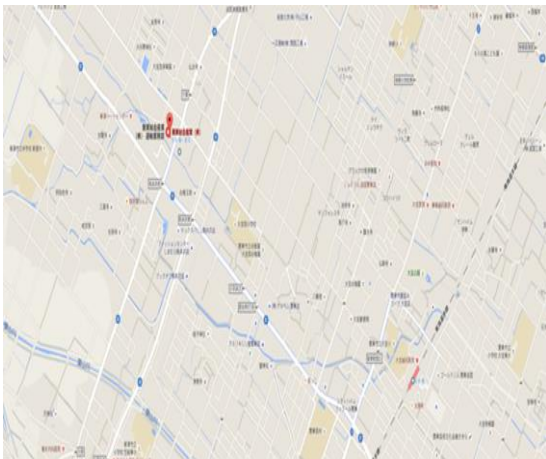
中小企業診断士：菊田俱光

(5) お問い合わせ先

滋賀県栗東市十里244番地

栗東総合産業株式会社 常務取締役 井之口哲也

TEL 077(552)1711(代表)



〈当社所在地〉



〈作成者 井之口哲也・青木由樹〉